



《編集・発行》

相模原市農業委員会  
相模原市中央区中央2丁目11番15号  
Tel 042-769-8292 (直通)

# 農業のうごき

▶高橋会長(左)から湯山副市長へ意見書を手交  
(後方は農業委員会役員)



9月12日に「平成31年度相模原市農地等の利用の最適化の推進に関する意見」及び「相模原市農業施策に関する要望」を、農業委員会高橋会長から相模原市長(湯山副市長が代理出席)へ手渡ししました。これは、農業者の皆様から農業委員や農地利用最適化推進委員へ寄せられた意見や要望をまとめたもので、これらを市政に反映させるため提出したものです。提出後に行われた懇談では、鳥獣被害の深刻な現状を訴えるとともに、市からは特産品の開発などの提案もあり、課題の解決に向けた有意義な意見が交換されました。

## 農地等の利用の最適化の推進に関する意見を提出

意見の概要

### 1 遊休農地の発生防止・解消について

- 「鳥獣被害防止計画」については、関係機関との情報共有を行い、実態に即した具体的な計画とすること。また、策定後は、計画に対する進捗状況を適時関係機関に情報提供すること。
- 鳥獣による農作物被害に関しては、一元的な情報の収集と活用、また、迅速な対応が必要なため、専管組織を設置するなど、総合的な対応と対策を行うことができる窓口を設けること。
- ニホンザルについては、県管理計画に基づく事業を確実に実施すること。特に、県境をまたぐ個体群については、三都県が連携した抜本的な対策を講じるよう県に強く働きかけること。

### 2 担い手への農地の集積・集約化について

- 「相模原農業振興地域整備計画」については、それぞれの圃場の特性に適した目指すべき方向を明示するとともに、必要となる圃場整備を進めること。
- 藤野地区の大日野原圃場への進入路については、早急に危険箇所の洗い出しを行い整備に着手すること。また、その進捗状況を地域や関係機関に適時情報提供すること。

### 3 新規参入の促進について

- 新規参入者が地域に定着できるよう、家族が安心して暮らせる生活環境の整備と支援を行うこと。
- 参入者の経営が早期に安定するよう、経営、技術向上のための相談など、支援を充実すること。

要望の概要

### 1 地産地消の推進による販路拡大について

- 消費者が生産者に求めていることや、地場農産物を購入する上での課題を把握し、地産地消を推進するための施策を検討すること。また、その結果を関係機関等に情報提供すること。

### 2 生産緑地制度について

- 農業者に対し必要な情報を継続的に提供するとともに、優良農地の保全のための制度や、規制緩和の周知を確実にすること。

(意見・要望の詳細は市ホームページに掲載します。)

- 農業委員会では、毎年県や市へ農業に関する意見、要望を提出していますので、皆様の意見を各地区の農業委員、農地利用最適化推進委員又は農業委員会事務局へお寄せください。

農地等の利用の最適化の推進に関する意見を提出 ..... 1

第13回農地利用最適化推進委員連絡会、農業者年金に加入しませんか? ..... 2

第54回相模原市農業まつり、次期農業委員を募集します ..... 3

がんばる若手農家さんの紹介No.9 (仲吉京子さん)、今旬♪レシピNo.8 (さつまいものポートグラタン) ..... 4

## がんばる若手農家さんの紹介 No.9

～医療の視点で「食」と「健康」をつなげた、新たな「農業」に取り組む～



仲吉 京子さん

### 栽培品目

オクラ、大根、にんにく、じゃがいも、ミニトマトをはじめ、60品目以上栽培しています!

### 出荷先

ベジフル・フラワー・トゥーシェ・八百屋 (中央区鹿沼台)

### 宅配

個人宅配(飲食店)  
つくいやさい  
<https://tsukuiyasai.stores.jp/>

### Q. 相模原市に就農した経緯を教えてください。

A. 25年以上医療機関で勤務していますが、私は、体は食べ物から出来ていると考えていて、患者さんが再発したときは、原因は食事だと感じていました。祖母が農家なので元々農業に興味はありましたが、遺伝子組み換えには問題もあり、「大豆トラスト」というNPO団体を立ち上げ、遺伝子組み換えではない国産大豆の開発やセミナーなどの活動に携わっていくうちに「他の作物も育ててみたい!」と思い、縁あって就農した相模原市で、地域の方々に見守られながら、自然栽培に取り組むようになりました。

### Q. 自然栽培や販売をする上での苦労やこだわりはありますか。

A. 野菜のクオリティーや収穫量を上げるため、圃場に適した方法を試行錯誤しながら栽培していますが、散水をしないので、選択除草をしながら作物の乾燥と水分の蒸発を防いでいます。販売は、野菜に付加価値をつけるため、自然と手に取ってもらえるよう、野菜ごとにラベルやパッケージをデザインしています。対面販売すると、「いつも、仲吉さんの野菜を買っています」や「デザインが可愛い」など、大人気でとても嬉しいです。

### Q. 「農業」について伝えたいこと、将来の抱負をお願いします。

A. 「自然栽培」はまだまだ少数派で、周囲の農家さんたちの理解を得ることも難しいですが、この農法の良さを皆さんに知っていただくため、「農FUTURE」を立ち上げ全国でイベントも開催しています。「自然栽培」に興味を持つことをきっかけとした就農者も増やしていきたいです。また、顔が見える野菜を食べた方が体への吸収率が高いはずなので、生産者と消費者との信頼関係で成り立つ「かかりつけ農家」のような存在になりたいです。今後は、イベント等での対面販売やキッチンカーなどで、様々な形で私が作った野菜を多くの方へ届けていきたいです。



## 今旬♪レシピ No.8

今回は、秋に旬を迎え、おかずからスイーツまで万能に使える「さつまいも」を丸ごと使った、お子様にも喜ばれるレシピを紹介します!

### 本日の一品 さつまいものポートグラタン



完成イメージ

さつまいも  
[旬は9月~11月]

豆知識: 寒さに弱いので、冷蔵庫は禁物!なるべく常温で、風に当たらないように新聞紙で包んで日の当たらない場所に置くのが良い。

### 作り方

- さつまいもを縦半分切って、ラップにくるんでレンジで加熱(600Wで5分)する。
- ブロッコリーを一口大に切って、まとめてラップにくるんでレンジで加熱(600Wで3分)する。
- ベーコンを1cm幅に切って、玉ねぎはみじん切りにする。
- ①で熱したさつまいもを、器になる程度身を残して、スプーンで中をくり抜く。
- ④でくり抜いたさつまいもの中身をボウルに入れ、潰しながら牛乳を加えて混ぜる。
- フライパンにサラダ油を入れ、ブロッコリー、玉ねぎを炒め、しんなりしてきたらベーコンを入れる。
- ⑥に⑤を入れて全体を混ぜたら、最後にコショウとコンソメ顆粒を加え、混ぜ合わせたら火を止める。
- ④のさつまいもの器に⑦を入れ、上にピザ用チーズを乗せて、アルミホイルを敷いたトースターで5分焼いたら完成!

### 材料 (2人分)

さつまいも	1本	牛乳	100cc
ブロッコリー	1/2株	サラダ油	少々
玉ねぎ	半分	コンソメ顆粒	少々
ベーコン	4切れ	コショウ	少々
		ピザ用チーズ	少々

農畜産物の販売

野菜、植木、鶏卵、米、農産物加工品（漬物・おやき・豚汁・焼き鳥・手作りハム・ダチョウ加工品・プリンほか）、津久井在来大豆加工品、相模川産アユのPR販売、銀河連邦物産（ノシロ共和国・サク共和国）ほか

農業委員会の活動紹介

- ・農地再生モデル事業の活動パネル
- ・新規就農者との意見交換の紹介パネル
- ・農業者年金の相談 ほか

共進会の開催

乳牛、鶏卵、柿共進会

# 第54回 相模原市 農業まつり

「魅力とおいしいのある都市農業をめざして」をテーマに、相模原市内で生産される農畜産物を身近に感じていただくため、毎年開催される農業まつり。農畜産物の共進会や直売が行われるほか、卵のつかみ取りなどの楽しいイベントも盛りだくさん。飲食コーナーでは、地元産の食材で作った料理をおなかいっぱい味わえます。

平成30年11月11日(日)  
午前9時15分～午後2時30分  
淵野辺公園中央広場

主 催：相模原市農業まつり実行委員会  
お問い合わせ：農政課042-769-8239(農産班)

イベント

子牛の展示、市内農産物を使った料理紹介、卵のつかみ取り、バター作り体験、相原高校・麻布大学・相模女子大学・北里大学コーナー、食育コーナー ほか

交通：神奈川中央交通バス  
下記のいずれかで、「淵野辺公園」下車すぐ  
・JR淵野辺駅南口2番のりば（湘36、37系統・淵野辺駅南口行）  
・JR相模原駅南口1番のりば（相05系統・相模大野駅北口行）  
・小田急相模大野駅北口2番のりば（相05系統・相模原駅南口行）

## 次期農業委員を募集します

平成31年4月1日より任期が始まる、農業委員候補者を自薦又は他薦により募集します。  
なお、応募にあたっては、下記の内容を十分に確認の上、お申し込みください。

募集人数  
19人

募集期間 平成30年10月1日から10月31日(必着)

- 応募方法**：自らの応募又は他薦で、所定の申込書を直接お持ちいただくか郵送で農政課へ提出【相模原市役所本館5階】  
※直接お持ちいただく場合は津久井地域経済課【津久井総合事務所本館2階】も可能
- 応募資格**：農業に関する識見を有し、農地等の利用の最適化の推進に関する事項その他農業委員会の所掌に属する事項に関し、職務を適切に行うことができる方

【身分】相模原市非常勤特別職職員 ； 【任期】平成31年4月1日から平成34年3月31日まで ； 【報酬】月額：45,100円

**職務内容**：農地等の利用の最適化の推進や権利移動の許可等に関する審議、審議に関連した現場調査など（月2回程度の会議と月4回程度の現場活動など）

**選考方法**：書類審査や面接などによる選考

募集案内及び申込書の配布場所

- ・農政課、津久井地域経済課、各行政資料コーナー・まちづくりセンター（橋本・本庁地域・大野南を除く）・公民館、農業委員会事務局・同津久井事務所、相模原市農協及び津久井郡農協の各支店・支所
- ※市ホームページにも、募集案内及び申込書を掲載します。
- ※応募要件や応募方法について詳しくは募集案内をご覧ください。

【お問い合わせ：農政課 042-769-9233(農政班)】



# 活動事例報告 第13回農地利用最適化推進委員連絡会

推進委員

担当地区の農地の  
特徴と課題について

麻溝・相模台地区  
戸部推進委員

「農業と連携」  
～相模原の農業の活性化～

中立委員

藤村農業委員



大野北・大野中・  
大野南・東林地区  
草柳推進委員

8月7日に開催された第13回農地利用最適化推進委員連絡会で、委員による活動事例の報告がありました。麻溝・相模台地区と大野北・大野中・大野南・東林地区の推進委員による事例報告では、各地区の農地の特徴や抱えている課題とともに、農地等の利用の最適化を進める上で必要となる遊休農地の解消方法の提案もあり、発表後は活発な意見交換の場となりました。

また、中立委員として活躍する藤村農業委員からは「農業と連携」をテーマとした「相模原の農業の活性化」についての発表があり、近隣市における地産地消を推進するための取組みを紹介するとともに、鳥獣被害対策の取組みとして「鳥追い」や「カシコンテスト」をはじめとする市民を巻き込んだイベントの開催など、中立委員ならではの発想と研究による具体的な地域との連携について提案があり、新たな視点で農業委員会の活動を考えて行くきっかけとなりました。

## 農業者年金に加入しませんか？～安心して豊かな老後のために～

国民年金第1号被保険者で年間60日以上農業に従事する60歳未満の方であれば、だれでも加入できます。

### 【農業者年金にはメリットがいっぱい】

- 積立方式・確定拠出型の安定した終身年金です。加入者の支払った保険料が将来の年金給付に使われます。
- 保険料は自由に設定（月額2万円から6万7千円までの千円単位）できて、いつでも変更可能です。
- 年金は生涯支給されます。また、80歳になる前に亡くなった場合には、ご遺族に死亡一時金が支給されます。
- 支払った保険料全額が社会保険料控除の対象となり、所得税・住民税等の節税につながります。

詳しい内容や加入の申し込みは、最寄りの農協または農業委員会事務局へお問い合わせください。